

理解深め仕事観にも影響

福井県道路メンテナンス会議 学生向け学習会開く 2回目



真剣な表情で聴講する学生たち—県立図書館

コンクリー
とめた石川
裕夏福井県

講義をつ

見した。

ポートを拝

女25人のレ

科3年生男

建築設工学

を得て、建

大学の協力

今回、福井

けている。

ぶりを裏付

たちのレポートが盛況

のほど開催され、学生

2回「学生向け橋梁老

朽化対策」学習会がこ

ト診断士会会長による

テーマ「福井県のコン

クリート構造物の劣

化」を受けては、女子

学生の一人はこう感想

を記した。アルカリ骨

材反応(ASR)など

直に、一般論にとどま

点検や補修作業を行う

の地域よりも念入りに

深まった。福井では他

いたが、より理解が

事例をあげて説明して

いたけど分かりやすく

学の授業から知っては

福井に特徴的な3大劣

化現象について「材料

材反応(ASR)など

「見る・診る」につい

ては、男子学生は「最

先端のインフラ技術を

知ることができ大変勉

強になった。民間企業

の技術力を学んでいけ

る機会にもっと目を向

け大切にしていきたく

い」と向学心を強め、

女子学生も「ロボット

の説明は少し難しかった

が点検作業員が安全

たが点検作業員が安全

女子学生も「ロボット

の説明は少し難しかった

が点検作業員が安全

女子学生も「ロボット

の説明は少し難しかった

が点検作業員が安全

女子学生も「ロボット

の説明は少し難しかった

が点検作業員が安全

女子学生も「ロボット

の説明は少し難しかった

が点検作業員が安全

女子学生も「ロボット

の説明は少し難しかった

が点検作業員が安全

女子学生も「ロボット

の説明は少し難しかった

が点検作業員が安全

女子学生も「ロボット

の説明は少し難しかった

が点検作業員が安全

女子学生も「ロボット

実践的な知識に大満足

レポートが充実ぶりを裏付け

らない実践的な知識の習得に満足そう。また男子学生も「土木技術者として専門知識をもたない一般の人々に対し、安全を約束できる構造物を提供しなければいけない」と社会的な重責も感じている。

シビル調査設計の毛利茂則代表取締役社長が講義した次世代社会インフラ用ロボット「見る・診る」については、男子学生は「最先端のインフラ技術を知ることができ大変勉強になった。民間企業の技術力を学んでいける機会にもっと目を向け大切にしていきたい」と向学心を強め、女子学生も「ロボットの説明は少し難しかったが点検作業員が安全

に作業ができるように今後システムが向上することに期待したい」などと関心を寄せるいい機会になったよう。

室内実習では電磁波レーダーや打音調査、中性化試験を実習・見学し「点検ハンマーによる打音調査はコンクリート表面をたたいて生じた音の違いから異常の有無を判断。ASRゲルステイン法は特殊な試薬を塗るだけで反応を素早く判定できることがわかった(女子学生)と納得。また「せっかくの貴重な体験を忘れず、今後の研究や就職後の仕事に役立てられるようにしたい(男子学生)などと就活を控えて大いに参考となったよう。